

# 南那珂の普及活動 (普及活動月報)

令和7年12月  
南那珂農林振興局  
(南那珂農業改良普及センター)

## I 管内農業・農村の主な動き

### 1 小学生が田んぼのお花畠で水田の大切さを学ぶ

3日に飫肥小学校の学校田で、「小学生と取り組む！田んぼのお花畠プロジェクト」が行われました。

参加した小学生は、自分達で播いたコスモスが満開を迎えた田んぼで、自分達で握ったおにぎりを頬張り、摘み取ったコスモスとスイートピーを組み合わせた花束づくりに挑戦しました。

このプロジェクトは、日南市SAP会議が、子ども達に水田を身近に感じ、その役割を学んでもらうために取り組んだもので、来年以降の継続が期待されます。



コスモスに囲まれおにぎりを食べる子ども達

### 2 JAみやざきはまゆう地区本部生産牛部会南郷支部研修会が開催

17日、南那珂農業改良普及センターにて、JAみやざきはまゆう地区本部生産牛部会南郷支部の研修会が開催されました。

(一社)宮崎県家畜改良事業団の萬代氏により、「県種雄牛紹介並び今後の種雄牛造成について」の講演が行われました。



研修会の様子

### 3 令和7年度肉牛部会枝肉共励会表彰授与式が開催

18日、JAみやざきはまゆう地区本部研修会館にて、令和7年度肉牛部会枝肉共励会表彰授与式が開催されました。

入賞者は、年間の共励会結果を基に決定され、日南市の株式会社外山畜産が最優秀賞及び脂肪の質賞、同じく日南市の簗毛稔治氏が優秀賞、串間市の稻本民雄氏が優良賞を受賞しました。



授与式の様子

### 4 令和7年度10月期子牛品評会が開催

24日、南那珂地域家畜市場において、12月期子牛品評会が開催され、48頭の出品がありました。

結果、串間市串間支部の山下芳数氏の「しようこやま33（福晴茂×耕富士×愛日向）」号が優等賞首席、串間市串間支部の浜田辰夫氏の「きよひめ（清正秀×秀正実×忠富士）」号が2席、串間市大東支部の深江幸二氏の「やすてる344（二刀流×耕富士×美穂国）」号が3席を受賞しました。

また、串間市大東支部が団体優勝しました。



表彰式の様子

### 5 南那珂肉用牛重点指導プロジェクトの巡回を実施

24日、関係機関が連携して、串間市の肉用牛繁殖農家3件に対し、子牛事故率低減及び子牛の発育改善を目的とした巡回を行い、子牛の体測や、母牛への給与内容の確認等を実施しました。

今後も定期的に巡回し、管内の生産性向上のため支援いたします。

## II 主な普及指導活動等の取組

### 1 プロジェクト（基本、専門、重点）に関する普及活動

#### 総1 地域農業の担い手確保と技術・経営管理能力向上による人材育成

##### 1) 東京で南那珂での就農をアピール

6日、日南市、串間市の担当職員とともに、東京の池袋で開催された1次産業就職イベント「マイナビ農林水産FEST」に参加しました。

このイベントでは、全国各地から20を超える団体がブースを構える中で、日南市、串間市のブースには、延べ8人の農業に興味がある方が訪れ、うち2人の方は、その後、日南市、串間市を訪問するなど、次につながる良い機会となりました。

引き続き、関係機関と連携し、新規就農者の確保に向けた取組を進めていきます。



就農相談の様子

#### 総2 南那珂地域における持続可能な水田農業の実現

##### 1) 重点対象農家（株）みのりで法人調査を実施

4日、重点対象農家の（株）みのりを対象に法人調査を実施し、経営概況や生産・労務・設備等の現状について聞き取りを行いました。あわせて、今後の営農展開に向けた課題や対応の方向性について整理しました。

今後は、聞き取り結果を踏まえた個別支援に活用するとともに、県全体の農業施策検討に活用していく予定です。

##### 2) （農）みのさきファーム理事会及びみのさき地区農用地利用改善団体役員会が開催

8日、（農）みのさきファーム事務所において、（農）みのさきファーム理事会及びみのさき地区農用地利用改善団体役員会が開催されました。会では、鳥獣被害防止総合対策整備事業の電気柵設置や農地中間管理事業に関することが話し合われました。

引き続き、関係機関と連携した支援を行います。

## 専1 産地ビジョンに基づいた食用かんしょ産地の維持

### 1) 串間市大東食用かんしょ部会の座談会が開催

18日、19日にJAみやざき串間市大東地区本部と連携し、管内の食用かんしょ部会員を対象に座談会を開催しました。

会には生産者53名の参加があり、普及センターからは7年産に実施した「高系14号」の新系統選抜、抵抗性品種比較試験や薬剤防除試験の結果報告、8年産に向けた対策などについて説明しました。その後、JAから8年産に向けた苗床管理の注意点や今後の生産計画について説明がありました。

参加した生産者からは説明内容に対して質問が寄せられるとともに、生産者同士による活発な意見交換も見受けられました。

引き続き、生産者及び関係機関が一体となって、8年産の基腐病等による被害の低減に向けた対策に取り組んで参ります。



座談会の様子

### 2) 令和7年度第2回宮崎県サツマイモ基腐病対策会議

11日、宮崎市において、国、農研機構、県、酒造組合等、関係機関参集のもと、標記会議が開催されました。

会では、各地域から7年産の基腐病の発生状況や試験結果について報告がありました。

7年産の南那珂の発生状況としては、抵抗性品種の導入や総合的な防除対策の徹底により、10月の調査時点では6年産よりも減少しました。気象状況では、例年より早い梅雨入りや7～8月の降水量の増加により発生拡大が懸念されましたが、昨年と比べ6月末までの降水量が少なかったこともあり、防除の効果がより発揮できたのではないかと考えます。

今後も抵抗性品種の収量・品質の向上を図る試験や被害低減に向けた取り組みを関係機関と一体となって進めて参ります。

### 3) ゴボウの肥料効果確認試験ほの調査

4日、発酵肥料の効果確認の試験を実施している場で、生産者、JA宮農指導員と発芽率の調査を行いました。今回の調査では、試験区と慣行区に大きな差は見られませんでした。

今後も月に1回生育調査を実施し、収穫時には収量・品質調査により、効果確認を行う予定です。



調査の様子

## 専2 マーケットインを意識した産地再編による茶業経営の安定

### 1) 南那珂地区茶園現地研修会を開催

12日、生産者9名、関係者13名が参加し茶園現地研修会を開催しました。研修会では、専門技術センター及び茶業支場研究員を講師に、管内の茶園2カ所において、次年度に向けた茶園の管理状況の指導、また、根の生育状況に加え、貫入式土壤硬度計を利用した土壤環境の調査も実施しました。

生産者も今回の研修を受け、深耕の重要性についての理解が深まりました。



茶園現地研修会

## 専3 10年後の産地を担う畜産経営体の育成

### 1) 重点対象農家の巡回を実施

2日と19日に、日南市及び串間市の重点対象農家（肉用牛繁殖農家）3名の巡回を行い、粗飼料確保状況の確認や、ほ場の土壤簡易分析結果の共有等を行いました。

また、重点対象農家のほ場を随時巡回し、生育状況の確認を行いました。

今後も引き続き、定期的な巡回を行い、生産性向上を目的とした牛の飼養管理について支援します。

### 2) 親子承継の支援を実施

1日、15日、16日に、日南市で親子承継を希望する2組について、借入資金の検討や、農業経営者サポート事業を活用した税理士派遣等を行いました。

今後も、必要に応じて検討会を実施するなど、円滑な親子承継について支援します。

### 3) 飼料作物展示ほの収量調査を実施

9日、串間市で、いもち病抵抗性早生イタリアンライグラス「九州5号」（極早生エンバクとの混播）の展示ほの収量調査を実施しました。

今後、一番草刈取り後の生育確認を行います。

引き続き、地域に適した栽培方法について調査を行うなど飼料作物の安定生産を支援します。



収量調査の様子

## 専4 産地ビジョンに基づいた果菜類(きゅうり・ピーマン)の生産性向上

### 1) 露地野菜部会夏秋ピーマン専門部総会が開催

17日、夏秋ピーマン専門部総会が開催されました。

今年は梅雨入りが早く流れ果が多く発生した影響により、流通量が少なく、特に作の前半は高単価傾向であった報告がありました。

生産者からは、猛暑による高温障害の対策や作業者の熱中症対策強化の必要性を訴える意見が出されました。

次回の生産安定のため、今後も課題解決に向け支援を行っていきます。



総会の様子

### 2) Dプロ（施設園芸デジタル化推進プロジェクト）の巡回

1、11、15日、Dプロ参加者への巡回及びデータ返却を実施しました。南那珂では、圃場の環境データを2週間毎にまとめて返却を行っており、温度や湿度の管理について振り返りや、今後の管理について確認をしています。

病害対策として湿度管理を特に注意している生産者が多いため、アプリの活用と併せて重点的に支援を行っていきます。



巡回の様子

## 専5 環境制御によるマンゴーの品質向上と露地かんきつの経営安定

### 1) はまゆう地区本部露地かんきつ出荷反省会が開催

15日、はまゆう地区本部管内において、露地かんきつ生産者約40名の参加のもと標記反省会が開催されました。

J Aから令和7年産の生産・販売状況、各市場から市場情勢について報告がありました。また、普及センターからは新規就農者確保に向けた取組についての提案及び日焼け果軽減対策についての説明を行いました。

今年産は日焼け果がやや発生したものの、収量・単価は良好でした。

今後もJ Aと連携し、収量・品質向上に向けて支援します。

## 2) 完熟きんかん園地巡回及び一斉果実分析の実施

22、23、25日、はまゆう地区本部管内において、完熟きんかん生産者約60名の出荷前の生育状況を把握するための園地巡回を行うとともに、26日、普及センターにおいて園地巡回の際に採取した果実の一斉分析を実施しました。

本年は小玉ではあるものの、昨年と比較して糖度が高い傾向でした。出荷は1月15日から開始される予定です。



分析の様子

## 専6 南那珂花き産地戦略に基づいた産地育成

### 1) スイートピー展示ほを設置

17日、地区営農振興協議会花き技術員、メーカーとでスイートピー農薬展示ほを設置しました。

この農薬は加温機のダクトの中に設置し拡散することで灰色かび病の発生を抑える効果が期待されるものです。

3月末まで病害発生抑制効果の調査を定期的に行う予定です。



展示ほ設置の様子

### 2) 宮崎県花き生産者連合会・宮崎県JA 花き協議会スイートピー現地研修会へ参加

18日、南那珂地区管内花き生産者7名とともに、児湯地域にて開催された現地研修会へ参加しました。

今回は、スイートピーほ場や高温対策を目的とした遮熱資材の検討を行っている展示ほの視察を行いました。現地視察の後、児湯地域のスイートピーライ生産の状況や栽培講習、試験場の試験成果について説明がありました。

南那珂地区管内生産者より環境データや栽培管理について活発に質問が出され、今後のほ場管理について考えるきっかけとなる研修会となりました。



現地視察の様子

## 2 プロジェクト（基本、専門、重点）以外の普及活動

### 1) 串間市大島堰北部地区におけるタマネギ生育調査を実施

16日、串間市大島堰北部地区において、水田裏作で取り組んでいるタマネギ栽培の生育調査を実施しました。当地域では基盤整備が計画されており、将来的にタマネギの産地化に向けた検討を進めています。本年度定植した苗については、現在のところ順調に生育しています。

本年度は、今後の規模拡大を見据え、3月に収穫機の実証を実施する予定です。

引き続き、水稻とタマネギによる持続可能な栽培体系の確立に向けて、関係機関と連携して支援します。

